旭農
PTAニュース
編集
発行 北海道旭川農業高等学校PTA事務局
2023年3月1日
（令和４年度）
No.143

卒業を祝して

PTA会長
石尾　卓也

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

また、今日までたくさんの愛情を注ぎ、陰ながらお子様の成長を支えて来られました保護者の皆様にも心よりお祝い申し上げると共に、三年間ＰＴＡ活動に対しご理解とご協力をいただきましたことを厚くお礼申し上げます。

そして校長先生をはじめ、各先生方におかれましては、生徒一人ひとりをこれまで温かくご指導いただきましたことに保護者を代表して心よりお礼申し上げます。

卒業生の皆さんにとってこの三年間は、期待と不安、そして希望の繰り返しの、コロナ禍での高校生活だったと思います。

そんな中でも旭川農業高校でしか味わえない、かけがえのない三年間を過ごすことが出来たでしょうか。農業、林業、食品の基本や実習での学習を通じて、農業への愛情と感謝の気持ちが少しでも芽生えたなら、我々農家としてもさいわいです。コロナ禍での三年間で仲間と共に頑張ってきたことは、旭川農業高校でしか出来ない学びや体験など、これから全てが社会に出て必要とされるスキルであると共に、必ず皆さんの将来に役立つことと信じています。人間にとって大切な食と環境を高校時代で学び、知ることが出来たことを誇りに持ち社会へ大きく羽ばたいていただきたいと願っています。

保護者の皆様、卒業を迎えたお子様たちはこの三年間で成長したことを身をもって感じていることと思います。子供たちは社会に羽ばたき大人の仲間入りを致しますが、まだスタート地点に立ったばかりです。これからも私たちが子供たちを温かく見守り、たまには厳しく指導を送り続け、陰ながらエールを送り続けていただきたいと思います。

最後に、卒業生の皆さんが旭川農業高校を卒業したことに誇りと自信を持ち、皆さんの前途が光輝くものになることを心から願っています。

ご卒業おめでとうございます。

家族の約束

校長　野村　博之

数多くの思い出を胸に、三年間の課程を無事修了し、それぞれの道へ向かってスタートしようとする卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様におかれましてもお祝いを申し上げますとともに、本校の教育並びにＰＴＡ活動に対し三年間ご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

ずいぶん前になりますが、ある生徒の家を訪問した時に、家族の約束「五か条」と書かれた額がかかっていました。大変参考になると思い保護者に聞いてみました。第一条「挨拶は自分から心掛ける」挨拶は人間関係の基本、目上の人や友達、近所の人にも行うことで、誰からも良い印象を持たれるようになります。第二条「今できることは後にのばさない」人から言われた大切なことや自分で決めたことを、後でしようと思っても実行できないことがあります。第三条「うそをつかないようにする」一つうそをつけば、うそを重ねていかなければならなくなり、自分も苦しみ相手にも信頼されなくなります。第四条「笑顔を忘れないようにする」人と話す時に笑顔を心がけると、多くの人が集まり人間関係がうまくいきます。笑顔でいればいいことが必ずやってきます。第五条「お礼の言葉を忘れない」人に助けてもらったり、教えてもらったり、手伝ってもらったら、「ありがとう」を、お礼の言葉は、相手を満足させる魔法の言葉です。この家族の約束は、大人でも大切な事です。卒業生の皆さんは、今までの学びの中でこの約束が自然に身についていると思います。これからの人生、この約束を忘れずに歩んでください。

第七十五回の卒業証書授与式に際し、これまで本校の教育推進にご理解とご協力を賜りました保護者の皆様に深甚なる敬意と感謝を申し上げますとともに、卒業生一人ひとりのご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

おわりに、今後とも本校のＰＴＡ活動に積極的に参加をしていただくとともに、本校の教育方針をご理解いただき引き続き変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

卒業に寄せて

農業科学科

中木海波音

高校生活を振り返って

高校に入学したばかりの頃は不安でいっぱいでしたが、三年間共に過ごした今では、たわいもない話で教室が賑やかになり、みんなの仲を深めることができました。

入学直後からいろいろな学校行事がコロナの影響で制限されました。行くことができるか心配していた見学旅行。クラス全員で行くことは出来ませんでしたが、広島県や関西の歴史に触れることができたことや集団行動を学ぶことが出来て良かったです。また、クラスのみんなと協力し、高校生活最後の行事「体育祭」では総合優勝することができ、いい思い出を作ることができました。

実習や座学を通して、農業高校でしか体験できないことを沢山学ぶことができたのは、先生方のおかげです。進路や悩み事などの相談を聞いてくれてありがとうございました。

無事に卒業を迎えることができるのは、先生方や家族の支えがあってこそです。本当にありがとうございました。

農業科学科三十七人は別々の道に進みますが、高校生活で学んだことを生かしそれぞれの道で頑張っていきます。

食品科学科

小野寺莉暖

高校生活を振り返って

私たちの三年間を振り返ってみると、長いようであっという間の三年間でした。

入学した当初から新型コロナウイルスの影響で臨時休校や分散登校となり、様々な制限がある中で、私たちの学校生活はスタートしました。実習が行えなかったことで思っていた学校生活が送れず、「この先どうなるのだろうか。」と不安でいっぱいだったことを覚えています。しかし、コロナ禍でも生徒会や農業クラブ、先生方の工夫により体育祭や収穫感謝祭を行うことができました。コロナ禍だったからこそ私たちにしか体験できない特別な行事がたくさんあり、感謝の気持ちでいっぱい

です。
　また、二年生になってもコロナの勢いは収まらず「見学旅行は中止になってしまうのではないか」というう わさも流れてきました。そんな中でも先生方が何度も会議をして下さり、延期を経て無事、見学旅行に行くことができ、高校生活一番の思い出を作ることができました。
　担任の小田中先生にはたくさんの苦労と迷惑をかけたと思います。そして、先生はクラス全員の進路についてサポートして下さりました。どんな時も私たちの味方でいて下さり、ありがとうございました。卒業後はそれぞれの進路に進み、三年間学んできたことを生かして頑張りたいと思います。三年間本当にお世話になりました。

森林科学科

織田　龍輝

高校生活を振り返って

　三年Ｆ組は入学当初から、すぐに仲良くなりました。一年生の学祭はコロナで中止になりましたが、毎日が学祭の様に楽しい日々でした。
　二年生の見学旅行では、記憶が飛ぶ位楽しい三泊四日でした。
　三年生の学祭では模擬店で「お悩み相談室」を出しました。三Ｆの長所の「楽しみ、盛り上げること」を徹底し二日間楽しみ抜きました。体育祭では　雨でリレーが無くなってしまいましたが思い出に残る行事でした。そして、最後の行事は　卒業式です。毎日弁当を作り、ジャージ・実習服の洗濯、送り迎えをしてくれた親には感謝してもしきれません。次に三年間成長させてくれた担任の髙野先生にも感謝の言葉につきます。三年間同じクラスメイトで、担任が髙野先生で濃い三年間を送ることができ、最高な高校生活でした。高校で学んだことを生かし、これからも頑張ります。今まで本当にありがとうございました。

生活科学科

藤田　花歩

三年間を振り返って

　私たちの学年は、入学から新型コロナウイルスの影響で思うようにいかない高校生活でした。入学してすぐ分散登校が始まり、仲良くなったばかりの友達にも会えず、高校に入学した実感があまり湧きませんでした。学校祭は中止になりましたが、収穫祭や体育祭は無事に行うことができ、コロナだからこその形で楽しむことができました。二年生は、形は違いますが全ての行事を行うことができました。見学旅行にも行くことができて、準備段階から帰りのバスまでとっても楽しく過ごすことができました。三年生は、進路活動がメインになっていきました。みんな自分の進路を実現するために、頑張っていました。学校祭では総合優勝を獲ることができてみんなで盛り上がりました。
　高校三年間、新型コロナウイルスの影響がたくさんありましたが、クラスのみんなのおかげで素敵な高校生活を送ることができました。毎日お弁当を作ってくれた保護者の皆様ありがとうございました！斉藤先生三年間たくさんありがとうございました！

一年を振り返って

一学年主任

坂口　和紀

　ついこの間入学したばかりと思っていたら、早一年近くが過ぎようとしています。コロナの感染がなかなか終息しない状況下でマスクを着用し素顔を見れない状況下での入学式で一年生は入学してきました。
　さてこの一年を振り返ると、学校祭、球技大会と前学期は大きな行事をコロナ禍でも実施でき大きな達成感が感じられました。
　学校祭はやっと例年の日程と内容で実施され、クラス全員でパフォーマンスを取り組みクラスの一体感を味わうことができました。また、随所に仲間と協力し合い、声を掛け合い、互いを思いやる姿が見られ、団結力の発揮に結びついていったと強く感じています。体育祭では、生徒の笑顔が存分に見られ、互いの頑張りを賞賛し応援する姿から、生徒達のもっているパワーを感じることもできました。
　十一月には、生徒会と農業クラブの役員選挙が実施され、新しい役員に一年生からも立候補があり、新体制の生徒会と農業クラブがすでに動き出しています。今後のリーダーとしての資質を十分の伸ばし、旭川農業高校を引っ張っていける人材になってほしいと期待をしています。
　目まぐるしく変化をしていく社会情勢において、生徒達は二年後、社会人としてその変化の激しい社会に飛び出していかなくてはなりません。旭川農業高校のスクールミッションにもあるように「地域未来を創っていける人材」として活躍できるよう成長してくれるよう教職員全員でサポートしていきたいと考えております。また、今後ますますＡＩなどの活用が進む社会状況下で、学校教育も遅れることなくＩＣＴ機器の活用や情報活用能力の育成もこの一年生から実践し生徒達も柔軟に機器を活用できるよう実践力を身につけています。
　一年を通じて、欠席や遅刻・早退が少なく、身だしなみも概ね良好な状態を保つことができました。このことは保護者の皆様のお力添えあってのことと感謝申し上げます。今後とも、ご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

二学年主任

金枝　有子

　令和四年度も終わりが近づき、最終学年を迎えようとしています。新型コロナウイルスの状況も昨年に比べると良くなり、欠席する生徒が少なくなりました。また、学校行事や部活動、農業クラブ活動をコロナ感染予防対策に配慮しながら実施することが出来ました。それでも現在もマスクを着用して登校しなければならず、マスクを外した笑顔に触れたい気持ちは続いています。
　学校祭、体育祭、収穫感謝祭などの大きな行事が楽しい思い出として残っていますが、何と言っても見学旅行が一番でしょう。コロナ感染予防対策として、旅程が一日短くなり、グループごとの見学も教員の目の届く範囲になってしまいましたが、楽しかった、また行きたいという声をたくさん聞くことが出来ました。京都、大阪、奈良において、北海道では見ることの出来ない日本の歴史に直接触れることができて感動し、ＵＳＪでは小雨が降るにもかかわらず、時が経つのを忘れて楽しむことができました。団体行動において大切な「時間厳守」を守れなかった生徒が数名いて、旅行団に迷惑を掛ける場面もありましたが、全員で元気に帰着することができました。保護者の皆様には、旅程変更に対する御理解、事前説明会への出席、旅行の送迎等、ご協力頂き感謝致しております。
　一年を通して、おおむね良好な日常を過ごしていますが、制服の着こなし方や頭髪等で校則に違反をして指導を受ける生徒がやや目立つように感じられます。進路実現に向けて、二者面談を終え、総合的探求の学習での進路学習も本格的に始まる時期です。ルールを守り、信頼される人材となるように努力し、進路実現に向けて頑張って欲しいです。
　次年度も引き続きご家庭のご協力を頂きながら指導に当たっていきますので、ご理解とご支援をよろしくお願い致します。

卒業担任より

経験を糧に

三A担任　國井　愛

卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。みなさんと過ごした三年の月日は想像以上に早く、一日一日がかけがえのない日々だったと感じています。

みなさんが過ごした高校生活は、新型コロナウイルスと共に歩んだ三年間でした。入学直前に緊急事態宣言が出され、入学式は規模を縮小しての実施。入学後、二週間で休校。楽しみにしていた高校生活がいきなりストップし、ワクワクする気持ちをどこに向かわせたらいいのか葛藤していた日々だったように感じます。感染状況が一時的に収まり、入学して初めて取り組んだクラス行事は収穫感謝祭。クラス全員で餅をつき、豚汁を作り食べたこと。授業のみで過ごしていた高校生活に彩りが添えられた瞬間でした。

学年を追うごとに新型コロナウイルスに対する社会の認識が変化し、みなさんの学校生活もその都度変化していきました。この三年間の高校生活は、我慢をすること、思うように物事が進まないことなどマイナスなことがたくさんありました。しかし、その経験の中で、〝変化に対応する柔軟性〟や〝物事を前向きに捉える力〟を身につけることができたのではないでしょうか。

これからみなさんが活躍するフィールドは、とても大きく、多様な価値観をもつ人たちに溢れています。高校生活で身につけた力を最大限に生かし、活躍してくれることを期待しています。

最後になりましたが、保護者の皆様には、ご理解ご協力をいただき、感謝申し上げます。担任として至らぬ点も多々ありましたが、温かく見守りくださり、本当にありがとうございました。

いよいよ卒業です

三M担任　小田中尚紀

定年まで残り三年。教員生活最後の担任を受け持つことになり、「この子たちと一緒に旭農を卒業するんだなあ」と思いながらのスタートでしたが、早くもその日を迎えようとしています。この間、保護者の皆様におかれましては本校の各教育活動にご理解とご協力を頂きましたことに、深く感謝申し上げます。

希望に胸を膨らませて始まった高校生活でしたが、入学式からわずか十日あまりで休校になるなど、コロナに様々な影響を受けた三年間でした。当たり前にできたことが当たり前でないことを思い知らされた三年間だったと言えます。しかし、そのような中でも生徒たちは熱心に学習し、工夫を凝らして学校行事をやり遂げ、部活動や専攻班活動を充実させてきました。

とくに生徒会や部局活動においては、クラスに生徒会長・副会長を始め部局長が多数おり、二年生の後学期からは各活動の中心としてリーダーシップを発揮しました。弓道部や写真部が全道大会に進出し優秀な成績を収め、専攻班活動では全国大会のプロジェクト発表会や鑑定競技会に出場し優秀賞を獲得するなど目を見張るほどの頑張りを見せてくれました。三年生では学校祭をはじめとする行事がほぼ通常に戻り、野球部の最後の夏の大会で三年ぶりに全校応援が行われたことも良い思い出となりました。このような活動を通して生徒達は日々成長し、一人一人が進路活動にも粘り強く取り組んでくれました。

私自身、あらためて振り返ると様々なことがありましたが、その都度生徒達の頑張りにパワーをもらい、支えられた三年間でありました。保護者の皆様には担任として至らぬ点も多々ありご迷惑をおかけしましたが、温かく見守っていただき感謝の気持ちでいっぱいです。今後も卒業されますお子様のご活躍を陰ながら応援していきたいと思います。三年間、本当にありがとうございました。

いつまでもお元気で

三F担任　髙野　敦也

今から三年前、令和二年四月に入学した森林科学科三十八名（男子三十六名、女子二名）もとうとう卒業式をむかえることになりました。平成十九年度に前任校で卒業生を出して以来、十二年ぶりのクラス担任と、あまりにも久しぶりで、入学式一ヶ月前からそわそわしたことを思い出します。保護者の皆さんは中学校の卒業式、本校の入学式も制限がかかり出席できず、お子さんの門出を祝うことが出来なかったので、今年度、本校の卒業式に出席できたことを大変嬉しく思います。

私が受け持った森林科学科はここ最近の旭農生と違い、毎日がにぎやかで、学校生活を大いに楽しんでいるという印象でした。元気すぎて翌日体調を崩し休んだ生徒も多かったのではないでしょうか。勉強はあまり得意ではなかった生徒が多かったと思いますが、今まで旭農で学んだことを少しでも生かすことが出来るように頑張って欲しいと思います。私は大学に進学したので、高校卒業後に就職する生徒を毎年頼もしく思っております。卒業式一ヶ月後の四月から一気に生活が変わります。体調に気をつけながら頑張っていただきたいと思います。最後に、三年間無事に卒業式を迎えることが出来たのは保護者の皆様をはじめ、森林科学科の先生など多くの方々のおかげです。本当にありがとうございました。

経験にムダなどない

三L担任　斉藤　睦

人生の中で夢を持つこと、そして目標を持つことは大切なことだと私は思っています。

私の父は農業を営んでいましたが、建築関係の仕事が好きで車庫や納屋など自分で作る人でした。私も幼い頃から知人の家や納屋などの解体を手伝っていました。部材がほしい父にとっては解体していただける木材は最高の報酬だったわけです。

解体している時には、蛇がいたり抜け殻があったりと驚きもありましたが、家の構造について学ぶよい機会でした。高校は農業高校に進学しましたが、兄が家を継ぐことになっていたので建築家志望でした。しかし、父親と今ひとつそりが合わず家を出たいという思いから寮のある旭川農業に入学しました。

大学時代もいろいろありましたが、今思うことは父への感謝の気持ちです。ガーデニング甲子園で結果を残せたことも、農業のことについての知識や技術についても、そして部活動で指導しているスポーツについても父の存在があったから今の自分があると思っています。

定年を間近に迎えた私の夢は、自分の基地を自分で建てたいというものです。現実的には非常に厳しい夢ですが、人生一〇〇年と言われる時代だからこそあと四十年夢を叶えるために頑張りたいと考えています。

趣味と仕事そして夢、輝ける大人を目指してください。

高体連・高文連などの記録

主な部活動大会記録（令和4年9月以降）

◆野球部

◎第75回秋季北海道高校野球大会
旭川支部予選
1回戦　対　旭川龍谷
不戦敗（学校事情による出場辞退）

◆陸上部

◎第38回北海道高等学校新人陸上競技大会（札幌）
男子5000m　芳澤　英太（1F）
男子3000mSC　芳澤　英太（1F）
男子円盤投げ　谷　晴登（2F）
女子砲丸投げ　大田穂乃華（1M）
女子円盤投げ　大田穂乃華（1M）
（決勝7位）

◆バドミントン部

◎第74回北海道選手権大会旭川地区予選会
男子Ⅰ部シングルス
川島（1M）　2回戦進出
男子Ⅱ部シングルス
根本（2M）　5回戦進出
藤原（2F）　5回戦進出
表（1F）　4回戦進出
山内（2A）　3回戦進出
寺島（1A）　3回戦進出
三島（2M）　1回戦敗退
吉尾（1A）　1回戦敗退
遠藤（1F）　1回戦敗退
松村（1F）　1回戦敗退

男子Ⅲ部シングルス
高橋陸（1F） 準優勝
高橋楓（1F） 第3位
女子Ⅱ部シングルス
堀江（2M） 1回戦敗退
鈴木（1L） 1回戦敗退
男子Ⅰ部ダブルス
山内（2A）寺島（1A） 2回戦進出
根本（2M）藤原（2F） 1回戦敗退
川島（1M）遠藤（1F） 1回戦敗退
男子Ⅱ部ダブルス
奥山（2A）吉尾（1A） 3回戦進出
表（1F）松村（1F） 3回戦進出
高橋楓（1F）高橋陸（1F） 1回戦敗退
女子Ⅱ部ダブルス
堀江（2M）鈴木（1L） 1回戦敗退
◎令和4年度北海道高校新人大会旭川地区予選会
男子団体
1回戦 対 旭川商業 0対3
交流戦 対 旭川東 3対1
男子Ⅰ部シングル
川島（1M） 2回戦進出
寺島（1A） 1回戦敗退
遠藤（1F） 1回戦敗退
男子Ⅱ部シングルス
根本（2M） 準優勝
表（1F） 4回戦進出
奥山（2A） 3回戦進出
三島（2M） 3回戦進出
藤原（2F） 3回戦敗退
高橋陸（1F） 3回戦進出
山内（2A） 1回戦敗退
男子Ⅲ部シングルス
高橋楓（1F） 2回戦進出
男子Ⅰ部ダブルス
山内（2A）寺島（1A） 1回戦敗退
根本（2M）藤原（2F） 1回戦敗退
川島（1M）遠藤（1F） 1回戦敗退

円盤投げ

卓球部

弓道部

吹奏楽部

男子Ⅱ部ダブルス
奥山（2A）三島（2M） 3回戦進出
高橋楓（1F）高橋陸（1F） 2回戦進出
吉尾（2A）表（2A） 1回戦敗退

◆ソフトテニス部
◎第52回北海道高等学校
新人ソフトテニス選手権大会
男子ダブルス
塚本（1A）北島（1M） 1回戦敗退
男子シングルス
塚本（1A） 2回戦敗退
◎第48回全日本高等学校選抜
ソフトテニス大会旭川支部予選会
男子団体
予選リーグ
対 旭川実業 0対3
対 旭川大学 2対1
決勝トーナメント
対 旭川東 0対3
女子団体
予選リーグ
対 旭 川 北 0対3
対 旭川明成 1対2
対 旭川商業 1対2
◎第59回北海道高等学校
インドアソフトテニス選手権大会旭川地区予選会
男子ダブルス
塚本（1A）北島（1M） 1回戦敗退
角張（1F）平田（1A） 1回戦敗退
吉田（2M）山根（2F） 1回戦敗退
宮島（2A）佐藤（2A） 2回戦敗退
立岩（2F）中村（1M） 1回戦敗退
女子ダブルス
蝦名（1L）餌取（1F） 回戦敗退
餌取（2F）佐々木（2A） 1回戦敗退
居倉（2M）古澤（1M） 1回戦敗退
村椿（2M）旭川北高校 1回戦敗退

◆卓球部
◎令和4年度全旭川高校生新人卓球大会
男子団体 予選ブロック敗退
女子団体 3位
男子ダブルス
佐々木（2F）椎名（2F） 2回戦敗退
木下（2F）松田（1A） 2回戦敗退
男子シングルス
松田（1A） 準々決勝敗退
齋藤（2F） 3回戦敗退
佐々木（2F） 2回戦敗退
椎名（2F） 2回戦敗退
木下（2F） 1回戦敗退
女子ダブルス
大島（2M）・有富（2M） 2回戦敗退
佐々（2M）・後藤（1L） 2回戦敗退
女子シングルス
大島（2M） 2回戦敗退
有富（2M） 1回戦敗退
佐々（2M） 2回戦敗退
後藤（1L） 2回戦敗退
◎第50回北海道高等学校選抜卓球大会
女子団体予選ブロック敗退

◆弓道部
◎第44回北海道高等学校弓道選抜大会
北北海道大会旭川支部予選会
男子個人 3位 田西（2F）
7位 佐藤（2M）
女子個人 優勝 有木（2L）
2位 水上（2A）
3位 佐々木（2M）
※以上第44回北海道高等学校弓道選抜
大会北北海道大会出場
◎第58回旭川地区弓道選手権大会
男子団体 2位
石田（2F）・鈴木（2F）・田西（2F）
女子団体 2位
水上（2A）・澁谷（2M）・有木（2L）

男子個人 3位 石田（2F）
女子個人 2位 有木（2L）
4位 濱野（2M）
5位 水上（2A）
◎第44回北海道高等学校弓道選抜大会
北北海道大会
女子個人 5位 水上（2A）
◎第74回旭川秋季弓道大会
男子団体
優勝 佐藤（2M）・石田（2F）
田西（2F）
女子団体
優勝 水上（2A）・濱野（2M）
有木（2L）
3位 松田（2A）・佐々木（2M）
上（2L）
男子個人
2位 田西（2F） 6位 石田（2F）
女子個人
優勝 濱野（2M） 3位 澁谷（2M）
4位 上（2L）
射道奨励賞 有木（2L）

◎第43回旭川冬季弓道大会
男子個人 6位 阿部（1F）
女子個人 優勝 有木（2L）
4位 佐々木（2M）

◆吹奏楽部
◎第15回定期演奏会 開催
◎第59回北海道管楽器個人コンテスト
旭川地区予選
銀賞（ホルン独奏） 尾形（2L）
◎第54回北海道アンサンブルコンテスト
旭川地区予選
金賞（サクソフォーン五重奏）
深山（3A） 堤 （3L）
三好（3L） 作田（1L）
油谷（1L）

◆放送局
◎第45回北海道高等学校
文化連盟放送コンテスト上川地区大会
オーディオメッセージ部門 第3位
自由発表部門 奨励賞

農業クラブ大会の記録

令和4年度旭川農業高校農業クラブ実績発表大会結果（地域大会開催地：剣淵町）

分野Ⅰ類【生産・流通・経営】に関する研究活動

○生活科学科（アグリデザイン班）
発表題目：オーガニックフラワーの調査・研究～サステナブルな農業の実現を目指して～
地域大会：最優秀賞

○農業科学科（畜産班）
発表題目：食品廃棄物を活用した飼料費削減に関する研究
地域大会：優秀賞

分野Ⅱ類【開発・保全・創造】に関する研究活動

○食品科学科（乳加工班）
発表題目：旭農フロマージュの製造2022～改善と進化！牛乳の消費拡大に向けて～
地域大会：最優秀賞

○食品科学科（資源活用班）
発表題目：今こそお米の魅力を伝えたい～地域を生かした商品づくり 探究編～
地域大会：優秀賞

分野Ⅲ類【ヒューマンサービス】に関する研究活動

○食品科学科（微生物班）
発表題目：B'Project 2022～旭川から始まる新たな食文化の発信～
地域大会：最優秀賞

○農業科学科（水稲班）
発表題目：北方型稲作の更なる可能性の追求～旭農高日本酒プロジェクト「北の灘」地域の未来を繋げ Season 2～
地域大会：優秀賞

クラブ活動発表

○旭川農業高校農業クラブ執行部
発表題目：旭農100年 これからも地域に愛される活動を目指そう
地域大会：出場

Ⅰ類最優秀アグリデザイン班